



篠建第 88 号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

篠栗町長 三 浦 正



中期的な計画作成にあたっての意見について

貴職におかれましては、日頃より道路事業に対しご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け貴職よりご依頼のありました中期的な計画の作成にあたっての意見を別紙のとおり提出いたします。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

平成19年度国土交通省道路局発表の「道路政策7つのポイント」の視点から篠栗町の道路状況を改めてみたところ、次の3点について要望させていただきます。

### 1 町内の南北を縦断する道路建設

(ポイント3:安全・安心の確保のうち「踏切対策のスピードアップ」の観点から)

篠栗町は、JR福北ゆたか線が東西に走っており、平行して国道201号、県道607号が位置している関係で、東西には道路整備はかなり進んでいると言えます。しかしながら、南北にはJR線が遮る形となり中心市街地においても迂回して通行するのが現状であります。JR篠栗駅の橋上化と周辺地域の再開発等全体的な開発を伴うことにはなりますが、国道201号篠栗北交差点から南にJR線を立体交差し、県道607号線へと結ぶ道路の建設が望まれるところです。

### 2 旧街道である町道の整備

(ポイント4:豊かな生活環境の創造のうち「快適な生活環境の構築と活力ある市街地の形成」の観点および、ポイント7:道路政策の進め方のうち「様々な主体の協働による多様な道路機能の発揮」の観点から)

旧街道である町道上町水車橋線の上町～新町間は、平日午前7時～9時までは飯塚方面に一方通行としておりますが、その他の時間帯は規制しておりません。この道路は道幅も狭く、住民の生活道路であり、遍路やウォーキングのために来町した観光客が歩く風情をもった道路でもあります。今後は、スピードの出さないよう心がけるようなカラー舗装や歩道を色分けした景観道路への転換を望みます。

### 3 城戸地区の渋滞解消策について

(ポイント4:豊かな生活環境の創造のうち「美しい景観や活力ある地域づくりのための『日本風景街道』の推進」の観点から)

篠栗四国霊場中心となっている城戸地区は観光地域であるため、週末や祝日には多くの参拝者が訪れ、渋滞が数キロに及ぶこともあります。従って八木山峠の出口である、二瀬川交差点から、八木山バイパスへ接続道路を建設することによって、

城戸地区を通らずにすむことになることから、渋滞の解消と、福岡飯塚間の幹線道路のスピード化が図られることになると思います。この工事は、城戸地区で迂回道路を模索するよりは、安価で完了すると思えます。

